

各部のなまえ
保温・保冷用

コップタイプ

保冷専用

ダイレクトタイプ


※せんパッキンはコップタイプとダイレクトタイプで共通です。

専用ポーチつき

ご使用前に必ずお読みください。そして大切に保管してください。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、飲み物の変質・変色 や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

保護者の目の届かないところで使用させない。また、乳幼児のいたずらには十分注意する

やけどやけがなど危険です。

熱い飲み物を入れた場合は、直接飲まないで、必ずコップを使用する。

また、ダイレクトタイプは使用しない

やけどなど危険です。

飲み物はその日のうちに飲みきる

腐敗の原因になります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せん・せんセットなどをはずすときに飛んだり、飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

電子レンジでの加熱はしない

火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない

変形や変色の原因になります。

本体外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない

さびや穴あきなど故障の原因になります。



底シール

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

缶やビンなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

ベルトを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

ベルトを首に掛けたまま遊ばない。また、周囲の物に引っ掛けないよう注意する
窒息の恐れがあります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない
飲み物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

自動車走行中は飲まない

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

使用後はすぐに本体内部をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

改造や分解修理はしない

故障や事故の原因になります。

本体内部のフッ素樹脂コーティングを傷つけない

傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、中せん・せんセットが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの

本体内部は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●果肉・お茶の葉など

詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎますと中せんのボタンがたかくなったり、中せん・せんセットを取りつける時、飲み物があふれる原因になります。また、中せん・せんセット内に飲み物が入り、あとから漏れ出すことがあります。入れすぎた場合は少量の飲み物を捨ててから、元通り中せん・せんセットを取りつけてください。



お手入れの際は次のことを守る

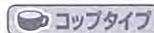
●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しない さびや穴あき(本体内部)など故障の原因になります。

●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない 傷やさび・変形など故障の原因になります。

●丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

熱い飲み物を入れた場合



●飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける 飲み物が勢よく出てやけどの恐れがあります。

●本体を振らない やけどやけがなど危険です。

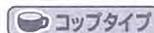
●飲む際にやけどの恐れがあるので注意する

断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。

●本体内部の圧力が上がり、中せんをはずす際にかたくなる場合があります。そのときはボタンを押したあとに、中せんをはずしてください。

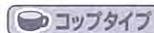
無理に中せんをはずすと中せんが飛んで、やけどやけがの恐れがあります。

傾けた状態や、顔などの近くでボタンを押さない



飲み物が急にいたり、飛散するなど、やけどの恐れがあります。

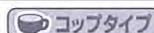
中せんは確実に取りつけて使用する。



また使用後はスイッチを押し、注ぎ口を閉める

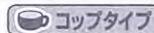
漏れてやけどなどの恐れがあります。

中せん・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する

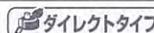


漏れてやけどなどの恐れがあります。また汚れの原因になります。

コップ・中せんを持って運ばない。 落とすと危険です。



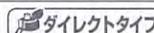
せんセットは確実に取りつけて使用する。



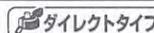
また使用後はキャップ・ボタンカバーを閉じる

漏れて衣服やバッグなどが汚れます。

せん・キャップパッキン・せんカバーパッキン・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する 漏れて車内や衣服を汚す原因になります。



せんセット・キャップ・ボタンカバーを持って運んだり、振り回さない



指をはさんだり、落としたりしてけがの恐れがあります。また、キャップ・ボタンカバーの破損の原因になります。

ご注意とお願い

熱いやかんを肩部に触れさせない

転倒してやけどなどの危険があります。また傷や変形の原因になります。



落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

製品専用の部品以外は取り付けない
漏れや故障の原因になります。

水が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

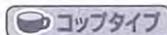
使用後は必ず中せん・せん・キャップパッキン・せんパッキンをきれいに洗う

腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

ポーチを使用しないときは、通気性の良い場所に保管する

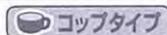
湿度の高い状態になるとシワが出る場合があります。

保温時に、コップの内面に水滴がつく(結露する)場合がありますので、ご注意ください。



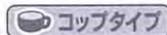
熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。

お出かけの時は、ティーバッグなどのご利用をおすすめします。

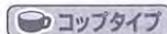


ティーバッグを入れたままで中せんを閉めない

ティーバッグがふくらみ、飲み物が漏れたり、飛び散りの原因になります。

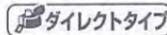


洗浄した中せんに、水が残らないよう数回振り、十分ふき取る
残ったしずくが漏れてくる場合があります。

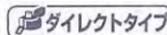


湿度が高いときにせんセットに水滴がつく場合があります。

バッグなどには縦置きに入れてください。



水を入れた場合など本体内の圧力が下がり、キャップを開けたときに、キャップパッキンがはずれる場合があります。
その場合はつけ直してください。



●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

使い方

●ご使用前にコップ・中せん・本体側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。[P.7 **せんパッキンの取り付け方**]参照)

1 本体からコップ・中せんをはずす

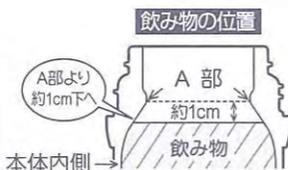
コップ・中せんを矢印の方向に回し、はずします。



2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

point

あらかじめ本体側内に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。



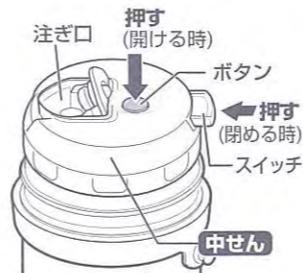
中せんを矢印の方向に回し確実に取り付けます。

- 中せんは本体を立てた状態で、象印ロゴマークと中せん正面が合う位置まで、確実に閉めてください。
- せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。[P.7 **せんパッキンの取り付け方**]参照)
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合は[P.15 **Q&A**]参照
- 注ぎ口は確実に閉めてください。



3 飲み物を注ぐ

- ①飲み物を注ぐ場合は、本体を立てた状態で中せんのボタンを矢印(↓)の方向へ押し、注ぎ口を開ける。
- ②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ。
- ③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(←)の方向へ押し注ぎ口を閉める。



- 熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。
(飲み物が勢よく出てやけどの恐れがあります。)

飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉めると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをお守りください。

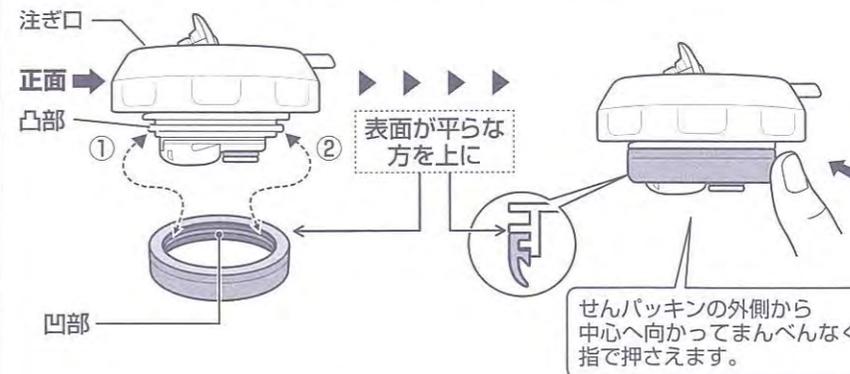
- 飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2~3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
- コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。



せんパッキンの取り付け方

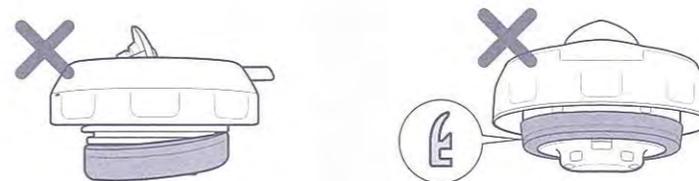
- 中せんは分解しないでください。
- せんパッキンは、正しく取り付けてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

- ①中せんの正面から先に、中せんの凸部とせんパッキンの凹部をあわせ、せんパッキンを正しい位置に取りつける
- ②周囲を押し込むようにして取りつける



間違った取り付け方

- 正しく取り付けないと飲み物が漏れる原因になります。



正しい位置に取りつけてください。

上下を間違わないようご注意ください。

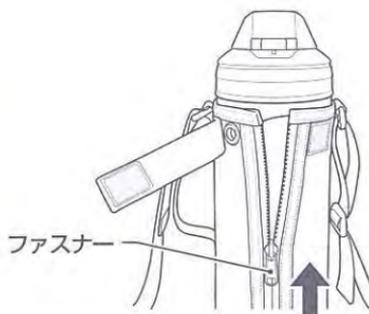
ポーチの装着方法

ポーチ内部で本体が回ったり、抜け落ちたりしないように、下記手順を守り、ポーチを装着してください。

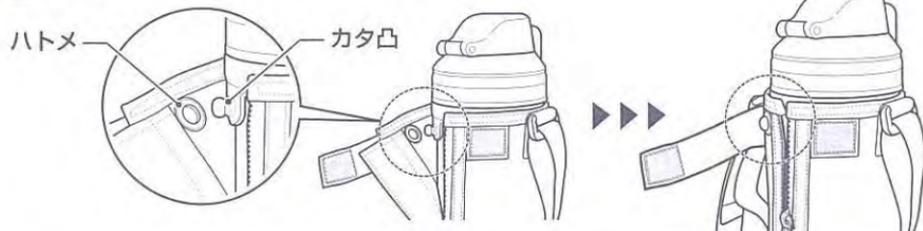
- 1** 本体正面と
ポーチ正面を合わせ、
ポーチに入れる



- 2** ファスナーを半分上げる



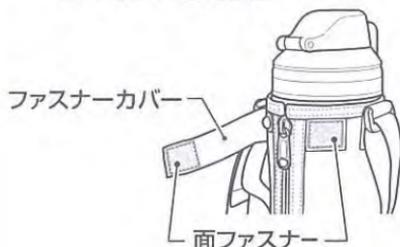
- 3** ハトメにカタ凸を押し込む



- 4** ハトメからカタ凸が
はずれないよう注意しながら
ファスナーを上部まで
上げる



- 5** ファスナーカバーを
しっかり閉める



- ファスナーや面ファスナーは確実に最後まで閉めて使用してください。

ポーチのベルトについて

- 調節具には表裏があります。はずした場合には、調節具が下図の表向きになるように取りつけてください。



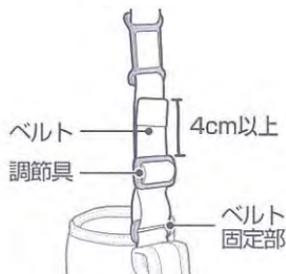
表



裏

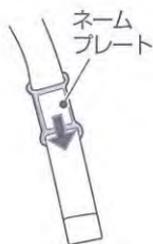
- 調節具は、ベルトを本体からはずした状態で引っ張ると簡単にはずれます。なくさないように注意してください。

- ベルトは調節具から4cm以上出してください。短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する恐れがあります。



はずし方

- ① ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具からはずす
- ② ベルトをベルト固定部からはずす
- ③ ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具をはずす
- ④ ネームプレートをはずす



●取り付け方は、はずし方の逆手順で行ってください。

使い方

●ご使用前にせんセット・本体内側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

せんセットは、下記のような状態ではつけはすしない

●ポーチをつけた状態 ●キャップやボタンカバーが開いた状態 ●ボタンカバーを持ったままの状態

1 本体からせんセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。



2 冷たい飲み物を入れる



point あらかじめ本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。

3 せんセットを取りつける

キャップとボタンカバーを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、確実に取りつけてください。



- せんセットは本体を立てた状態で、象印ロゴマークとせんセットの正面が合う位置まで、確実に取りつけてください。
- せんパックインやキャップパックインが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。[P.12 せんセットの組立方法]参照)
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合は「P.15 Q&A」参照

4 キャップを開けて飲み物を飲む

①本体を立てた状態で、ボタンカバーを矢印の方向に開く



②ボタンを押してキャップを開け、飲み物を飲む



5 飲み終わったら、キャップを閉める

①本体を立てた状態で、キャップをカチッと音がするまで確実に閉める



②ボタンカバーをカチッと音がするまで確実に閉める

●飲み物を飲んだあとは、本体を立てた状態でキャップを閉めてください。

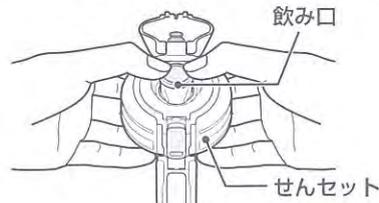
せんセットの分解方法

●組立方法はP.12参照

1 せんセットを本体からはすず

2 せんをはすず

キャップを開けた状態で、図のようにせんセットを持ち、飲み口を押し、せんをはすします。

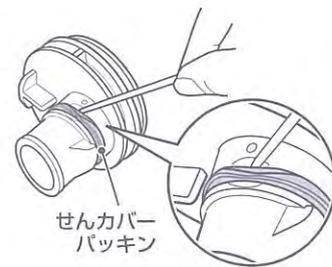


3 せんパックインを取りはずす



4 せんカバーパックインを取りはずす

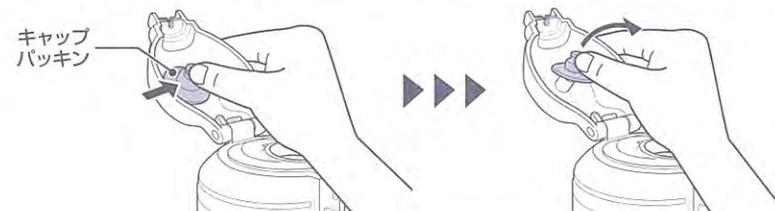
せんの●印の近くにある切り欠き部分につまようじなどを差し込み、せんカバーパックインをはずします。



●パックインを傷つけないようご注意ください。

5 キャップパックインを取りはずす

キャップパックインの先を指で横に押し、矢印の方向に動かしてはずします。



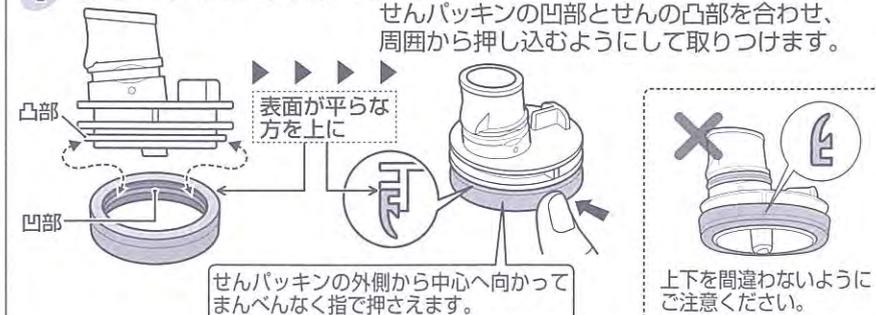
せんセットの組立方法

●分解方法はP.11参照

●せんカバーセット・キャップパックイン・せん・せんカバーパックイン・せんパックインは、正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

1 せんパックインを取りつける

せんパックインの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけてます。



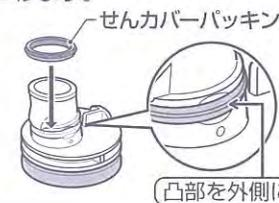
せんパックインの外側から中心へ向かってまんべんなく指で押さえます。



上下を間違わないようにご注意ください。

2 せんカバーパックインを取りつける

せんカバーパックインを凸部が外側になるように、せんに取りつけます。



3 キャップパックインを取りつける

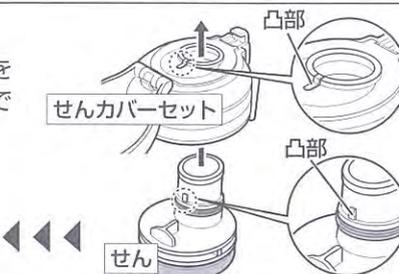
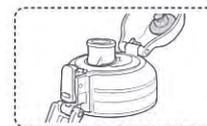
キャップパックインをキャップの奥まで押し込み取りつけてます。

●キャップパックインは必ず取りつけて使用してください。



4 せんを取りつける

せんカバーセットの凸部とせんの凸部を合わせ、せんを下から押しつけ、奥まで確実に取りつけてます。



お手入れ

●必ず分解してからお手入れをしてください。

本体外側 コップ せんセット 中せん	<p>①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。</p> <p>②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中せんはせんパッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは、キャップパッキン・せんカバーパッキン・せんパッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは分解した状態で洗浄、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
本体内側	<p>①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う。</p> <p>②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。</p>
ポーチ	<p>ネットに入れ洗濯機の手洗いコースまたはドライコースで洗い、日陰でよく乾燥させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手洗いをする場合は、水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。 ●洗濯乾燥機では乾燥させないでください。 ●エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しないでください。
ベルト	<p>柔らかい布をぬるま湯に浸し、かたく絞ってからふく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネームプレートははずしてからふいてください。 ネームプレートのシールがはがれる原因になります。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。



- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗いたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せん・せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。
(P.13、14「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側や中せん・せんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤『ピカボトル』」をご利用ください。(別売品)
●ピカボトルを使用する場合は、中せん・せんセットを本体からはずしてください。

部品・消耗品・別売品

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有償)してください。
- お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は「P.16 お客様ご相談窓口」参照)

部品名	部品番号	
コップタイプ		
中せん (「P.1 各部のなまえ」参照)	S74-6B	
ダイレクトタイプ		
せんカバーセット (「P.1 各部のなまえ」参照)	BB478K01L-〇〇	
せん (「P.1 各部のなまえ」参照)	S73-〇〇	
キャップパッキン	BB395009M-00	
共通		
せんパッキン	BB478039M-01	
ポーチ	06サイズ	BB478812N-〇〇
	08サイズ	BB478813N-〇〇
	10サイズ	BB478814N-〇〇
ステンレスボトル用洗剤ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J	

〇〇表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
(底面シールに表示)
<表示例>
SP-HA06-色柄記号

- 中せん・せんカバーセット・せん・キャップパッキン・せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せん等の樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

Q&A

症状	タイプ	原因	処置
中せんやせんセットから飲み物が漏れる	コップ	中せん・せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。 (P.1イラスト・P.7「せんパッキンの取り付け方」参照)
		中せん・せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。 (P.13、14「お手入れ」参照)
	ダイレクト	キャップパッキン・せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	せんセットの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。 (P.12「せんセットの組立方法」参照)
		キャップパッキン・せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。 (P.13、14「お手入れ」参照)
飲み物(本体内側・中せん・せんセット)がにおう	共通	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.3「飲み物の位置」参照)
		飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せん・せんセットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。 (P.13、14「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	コップ	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)するとより効果的です。 (P.5「2飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)
保冷が効かない	ダイレクト	十分に冷たい飲み物を入れていませんか。	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。予冷するとより効果的です。 (P.10「2冷たい飲み物を入れる」参照)
中せんのボタンを押したときに「ブシュッ」と蒸気が出た	コップ	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	共通	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0570-011874

ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………Tel (06) 6356-2451
 - ファクシミリでのお問い合わせ……………Fax (06) 6356-6143
- 製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社